



「学校は特別な場所」～笑顔の花が咲く～

- 4月24日（土）、満開の桜が咲く中、「同窓会のつどい」を開催しました。事前に参加を希望した卒業生や保護者の皆さんが笑顔で集まってきました。迎える職員も自然と笑顔になります。制服やジャージ姿のイメージが強いので、私服姿の卒業生に、「一瞬誰だろう？」と思うほど、素敵な大人に見えました。中には、先月卒業したばかりの初々しい同窓生もいました。
- 同窓生総会では、自己紹介後に卒業生が司会と記録係となり、今年度のやってみたい活動について意見交換をしました。カラオケ、ダンス、スポーツ、調理、映画鑑賞など、たくさんの「やってみたい！」が電子黒板いっぱいになりました。思いきり口を動かした後は、体育館に移動してポッチャで身体を動かしました。ここではたくさんの笑顔と歓声でいっぱいになりました。最後におやつを食べながら、「次の給料で買いたい物」をテーマにしたおしゃべりタイムでは、卒業生の夢や希望でいっぱいになりました。
- ある卒業生の保護者が、「子どもが学校時代の行事のビデオやアルバムをよく見えています」と話していました。いつまでも卒業生にとって学校は「特別な場所」なんだと思いました。しかし、学校がどれほど居心地の良い場所であっても、必ず巣立つときがきます。児童生徒として二度と戻ることができない場所であり、時間となります。だからこそ、今、目の前にいる子どもたちと過ごす時間を大切にして、学校での楽しい思い出が辛さを乗り越える力になるよう、限られた学校生活を支えなければならぬと決意を新たに、卒業生を見送りました。



かつの校副校長 加賀谷 勝

